

# JAえちご上越 「自己改革」実践中!!

3カ月  
連載企画

～「JAは変わった、良くなった」と言われるために～

JAえちご上越では、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域活性化」に向けて全力で挑戦しています。平成28年度より、短期的に成果が期待できる取り組みから、長期的に実施することで成果が期待できる取り組みなど幅広く実践中です。今までも、そしてこれからもJAえちご上越は“組合員のために”取り組んでいきます。

## ＜農業者の所得増大への挑戦＞

### 主な取り組み概要

- ①早生多収性新品種「つきあかり」を開発し、作付・販売の拡大へ挑戦【長期的】
- ②上越あるるん村を設置し、農産物の取り扱い拡大へ挑戦【短期的～長期的】
- ③雪下・雪室野菜の生産技術を確立し、冬期間の園芸販売の拡大へ挑戦【長期的】



### 農業者のメリット

- ①JAが需要に応じた米づくりをすすめ、多収性の米を生産することで所得増大に寄与します。

需要に応じた米政策

多収性米の作付け拡大

農業者の所得UP

- ②JAが新たな需要を開拓し、園芸品目の販売高を増やすことで所得増大に寄与します。

農産物取り扱い拡大

販売高8.5億円→10億円へ

農業者の所得UP

- ③JAが雪室野菜の生産技術を確立し、雪下・雪室野菜の販売高を増やすことで、冬期間の収入確保を実現。所得増大に寄与します。

雪室野菜の生産技術確立

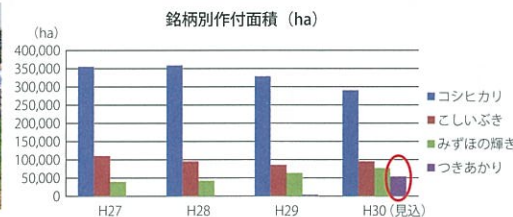
販売高900万円→1,300万円へ

農業者の所得UP

### 取り組みの進捗状況・成果



▲「つきあかり」のほ場を視察する米卸業者。



業務用米の需要に応えるため、早生多収性の「つきあかり」の作付けを開始し、平成30年度は10倍に拡大しました。



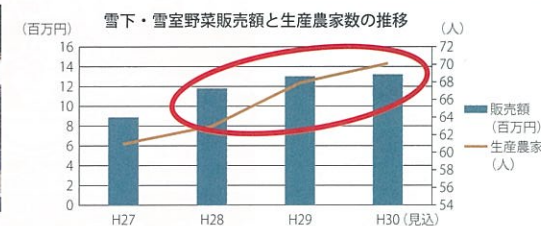
29年度に販売高が落ち込みましたが、平成30年4月に上越あるるん村をオープンし、販売高を伸ばしています。



▲農産物の売り場面積を1.5倍に広げオープンした上越あるるん村。



▲簡易雪室の現地研修会を開催。



年々右肩上がり  
で推移。29年7月には、「雪下・雪室ガイドライン」を作成しました。



次号は＜農業生産拡大への挑戦＞をご紹介します!

